

## 令和3年度総合教育会議会議録（要旨）

- 開催日時 令和3年10月22日（金）午後2時40分～3時44分
- 開催場所 本庁舎2階会議室
- 出席者 藤原淳（市長）、鳩岡矩雄（教育長）、槻館行男（教育委員）、菅原ゆかり（教育委員）、佐々木千穂（教育委員）、荒谷直大（教育委員）
- 事務局職員 平千秋（教育部副部長兼教育企画課長）、山火敏幸（学力向上推進監）、三上敬子（生涯学習課長）、清水明博（文化財課長）、畑本啓子（図書館長）、三浦めぐみ（給食センター所長）、田中館淳一（総合政策部長）、泉山茂利樹（政策推進課長）、長畑宏範（教育企画課副主幹兼教育企画係長）

### 1 開 会

（平教育部副部長）

ただいまから、令和3年度二戸市総合教育会議を開会いたします。

なお、本日の会議終了時刻は4時00分ごろを予定しております。

本日の会議は、市長部局から、田中館総合政策部長と泉山政策推進課長が出席しております。教育委員会事務局からは、山火学力向上推進監、三上生涯学習課長、清水文化財課長、畑本図書館長、三浦学校給食センター所長が出席しております。また、教育企画課から長畑副主幹が同席しております。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

はじめに、藤原市長から、あいさつをお願いいたします。

### 2 あいさつ

（藤原市長）

本日は、教育委員の皆様には大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございました。

まずもって、先般急逝されました佐藤部長のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、これまで皆様に大変お世話になったことを深く感謝申し上げます。

本当に突然のことでみんなびっくりしているところですが、引き続き意志を継ぎながら二戸の教育をきちんとしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

さて、平成27年に法改正により、新しい教育委員会制度のもと当会議が設立されたわけですが、これまで、教育の部門と行政の部門で話し合いをしながら、良い方向にもっていかうということで、ここ1、2年を見ますと、これほどうまくいっているものはないのではないのかと。これは私が言うのもおかしい話ですが、教育長さんのお力を持ちまして、学校施設等につきましても、エアコンから洋式トイレ、通学路など、様々改善されてきております。学力等につきましても、勉強だけではなく、地域の様々な歴史、文化等についても触れる機会を作りながら、健やかな子どもの教育をしていただいていると思っております。

今日は、今は自分たちがやっている事業は良いと思ってやっているのですが、委員の皆様から見て、まだまだ連携が足りないとか、このようにしたほうが良いというような忌憚のないご意見をいただきながら、より良い教育行政に持っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

**(平教育部副部長)**

ありがとうございます。

続きまして、鳩岡教育長から、あいさつをお願いいたします。

**(鳩岡教育長)**

それでは、一言あいさつを申し上げます。

本日は総合教育会議を開催していただきまして、誠にありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、なかなか市長に面と向かって話をいただける機会がないわけで、貴重な機会、時間でありますので、忌憚のないご意見をいただきまして、二戸市の教育振興のために、この会議が資するようによろしくをお願いいたします。

ただいま、市長からお話ございましたように、今年度は、ありとあらゆる面で目を見張るような変革があった年でございます。それは何よりも一人一台タブレットに巨額の予算を配当していただきました。おかげさまで各学校に配置をしまして順調にスタートし、子どもたちも喜んで使っているところでございます。次の市の広報には、GIGAスクールの特集もございますので、皆様もご覧いただきまして、現在の教育の一端を見ていただけたらとお願いをする次第であります。

### 3 議 題

**(平教育部副部長)**

ここからは、藤原市長に議長をお願いいたします。

**(藤原市長)**

それでは、最初に、「今年度及び今後の主な教育事業等について」に入ります。

事務局からすべての説明のあとにご意見等をいただきたいと思います。

説明お願いします。

**(平教育部副部長)**

それでは、今年度の主な事業の概要を説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

引き続き、各課長から事業の詳細について説明いたします。

**(平教育企画課長)**

「1 学校教育の充実について」説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

**(三上生涯学習課長)**

「2 社会教育の充実について」、説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

**(清水文化財課長)**

「3 文化財の保存の活用について」、説明申し上げます。

(中略)

以上で説明を終わります。

**(藤原市長)**

説明が終わりました。

乗りに乗って、エンジン全開というところで、やらなかったのが中高生の海外派遣とサマースタディの2つのようであります。

皆様からご意見、ご質問など頂きたいと思います。

**(槻館教育委員)**

2点です。市長のご挨拶にもあったように、GIGAスクールにしろ、環境整備にしろ、非常に子どもたちの取り巻く環境が、他の自治体に比べて遜色なく進んでいるという印象を持っております。

一般の市民からも教育に力を入れているということをよく耳にします。その辺のアピールもだいぶ浸透していると思っています。もちろん、生徒の学力向上については、いろいろな資料を出していただいているものを見て、随分しっかりしているところと見ているところです。

ただ、学校によっては、改善したほうが良いと思っていますところがあります。それは、教育委員会の事務局でもご承知かと思いますが、先日、石切所小学校の学校公開に参加させていただきました。久しぶりに子どもたちの元気な姿、活気ある状況を見させていただきました。あそこの校舎は独特の不便さがあります。うまく使っているとは思いますが、安全面や移動時間を含めて、あの辺が何とかならないものかと感じているところです。その辺の整備がされればありがたいと思っています。

2つ目は、ふるさと探訪塾ということで、いろんな方面から好評いただいたということでした。確かに、このような機会に二戸市の歴史、文化等が子どもを通して親にまで広まるのは望ましいと思います。

私が勤めた関係上、小学生であれば、小学校区それぞれの学校の歴史があると思うのですが、その辺に目を向けるような方針を出していただければ、それぞれの校風につながるようなことが再発見されるのではないかと思います。

特に、統合、統合で何年か前より校区が広がりました。ですが、子どもたちは同じ学

校の中にも、いろんなどころの学区があるので、それぞれ育てられている環境があり、なかなか感じる事ができない。もう少し足元を見つめても良いのではないかと思います。まして、これから何年後かになります、子どもの人数も少なくなりますので、統合が広がらざるを得ないことを考えると、小学校であればもう少し、自分たちの校区の中に目を向けるようなことが必要ではないかと思います。

#### (藤原市長)

1点目は石切所小学校の整備等について、多分体育館のことをおっしゃっているのかなあと感じたところでございます。

今は総合計画の中には載っておりません。区画整理の中で、駅周辺、学校の通学路の整備を急いでやっているところです。駅の東側の広場については入札等を行い、今後整備する予定であります。一つのコンセプトとすれば、高校など、学校もありますので、安全安心ということで進めております。もう一つが、駅前商店街からは、若い方々が駅でイベントができるように考えてもらえないと言われております。高さ、道路が一体的になってくれば、公民館が建って、大沢さんのところが整備されてきますと、体育館が残ってくるのかと思います。それをどうするかは、前から教育長さんなどからも言われておりましたが、なかなか計画に載せきれなかったというのが本当のところでありまして。いずれ、石切所小学校の体育館は、皆さんから30年前にもご要望があったと思っております。

その他、学校等の整備については、金田一小の入り口の拡幅や福岡高校のぐにゃっと曲がった道路、下の長嶺道路から来たところの拡幅や小学生、中学生、高校生が通うNTTの脇の道路は長年の課題で、雪が降れば狭くなるので何とかしてくれないと言われております。米沢地区から来る道路については、斗米橋に歩道を付けておりますし、中央小学校の入り口が狭いと言われており、重々承知しておりますが、付近の建て替えに併せながら道路の拡幅について、そのうちやっていかなければならないと思っております。

いずれ、石切所小学校の体育館、校舎まで行けるか分かりませんが、当然、次の計画には盛り込まれると。現在は、まずは通学路等の環境整備をして、石切所公民館を今年度立ち上げるといって進めているところでございます。

もう1点、学区の中の歴史の勉強についてお願いします。

#### (山火学力向上推進監)

小学校の学習の中では、1年生の生活科で学校の中を勉強し、2年生で自分たちの学校の周り、学区について、目を広げていくという学習をしております。その中で、自分たちの学区にある地域の宝に目を向ける学習を行っているところです。また、総合的な学習の時間でも、地域の宝について学習している学校もございます。総合的な学習の時間につきましては、学校ごとのカリキュラムがありますので、その学校の特長を活かして勉強をしているところです。地域の宝について学び、調べ学習を進めておりますし、昨年度から二戸の先人たちを5年生から配っておりますが、これをきっかけに地域の偉人について調べ学習をしている学校もあります。地域の宝、あるいは偉人について目を広げながら、地域に目を向けた学習も進めていると考えております。

**(槻館教育委員)**

指導要領等に書かれていて、教科等を利用して広げようというところは見えますが、まずは、よそから来ている先生が非常に多い中で、先生たち自身も自分たちの学校に何があるのかほとんど知らないわけです。学習の中で触れるのは、ほんとのさわり程度に終わることが多いのではないかと思います。それが子どもにとっては頭の中を通り過ぎていくだけで、もっとブスッとくるような中身があれば、ずいぶん子どもたちが、目の向けどころが違ってくるものと思っております。

**(山火学力向上推進監)**

地元の先生たちが減ってきているというのはその通りで、先生方自身が二戸を知らないということは事実であります。4月1日に新任教職員研修会を行っており、今年度は福岡中学校の生徒に二戸市について紹介してもらったのですが、それを聞いて二戸市のことを初めて知ったという先生方も実際おります。ですので、その点は今後検討していかなければならないところですし、子どもたちと学習を通して一緒に学んでいくという姿勢も大事な部分だと思います。先生も共に二戸市を学びながら、子どもたちと学習を進めてもらえればと思っております。

**(菅原委員)**

これまでの活動については、会議等でお知らせいただきとても頑張っているという感想を持っております。本当にコロナという時代に、それを忘れさせるくらいエネルギーを今改めて活動の内容から拝見させていただきました。

それで一つ感想としては、昔に比べて大人と触れ合う機会が多くなってきていると思っております。今後、進めていく中で、地域の方々と共にという方向性につながると思えます。PTAも含め、そういうことが以前より、より深くなってきていると思えます。それは一つ、教育委員会の皆さんが、社会教育にしても、文化財も、より具体的に学校との接点を持とうとなさっている感じがしています。

子どもにとっては、学校の先生以外、なかなか大人と接する機会はないと思うのですが、市役所の方々が一生懸命やられている姿を見て、元気づけられたり、大人ってすごいなと思ったり、優しくされた、力になっていただいたという体験が積まれて来ているのではないかと思います。それを皆さんが一生懸命やっている中で、アピールはできないとは思いますが、子どもたちに確実に伝わっていて、それが市民に必ず伝わっていると思っております。先ほど槻館委員からも、教育に関してお褒めをいただいているというお言葉がありました。それが伝わっているのだと思っておりますので、今後も私たちに勇気づけていただきたいと思っております。

**(藤原市長)**

教育長さんの教えが行き届いてきているということだと思います。各分野において、地域を知っていただくとか、よそから人をお招きしながら、世の中の動きを教えるとか、昇

太さんにしてもよそから見てこの九戸城がすごいということをバーンとやってもらおうと、今まで感じなかったことが、そうなのかということで改めて、外からの意見を聞きながらやっているところであります。

九戸城につきましても、本当に大きく変わって、これ以上ないというぐらい変わっていきと思います。裁判所の移転用地も確保しましたし、動きは速い、よく事務がついていけるなと思っております。ありがとうございます。

#### (佐々木委員)

コロナ禍で大変な中、コミュニティ・スクールが始まりまして、来年度から完全実施ということになります。教育企画課も生涯学習課も係わってやっているのですが、そこを分けなくて、教育委員会のどちらか一つががっちり取り組むほうが、こっちは生涯学習課で、こっちは教育企画課となると、微妙なところでのずれで、うまくいなくなるのではないかと考えております。コロナで地元しか見れていませんが、浄法寺小学校も浄法寺中学校も、地域の方々がすごく係わって、いろんなことを支援いただいたり、体験させていただいたりできていると思います。とても良いことなので、これをスムーズに進めるためには、一本化できないのかと考えております。

#### (藤原市長)

役場は何と言っても縦割りが多いのですが、多分、教育の部分と行政の部分とそういうものをなくして進むということで、この総合教育会議というものができたのではないかと考えております。やる方に見れば、生徒にとっても地域にしても一つなわけですから、その辺は十分注意しながら進めてまいりたいと考えております。

#### (山火学力向上推進監)

おっしゃるとおり、一本化したほうが動きやすいというのはその通りと思います。今後、ご意見を参考にして検討してまいりたいと思います。

現在、学校側は教育企画課、地域側は生涯学習課として進めているのですが、なるべく一体的に検討してまいりたいと思います。

#### (鳩岡教育長)

主担当は教育企画課の山火という形にはなっております。

ご参考までに教育振興運動が 50 年以上定着し続けているわけですが、指導主事がこれに係わったといいますか、教育振興運動という社会教育主事という感じですが、実は、指導主事がかなり係わってきたという歴史があります。

先生というのは、意外と県に弱いのです。社会教育主事ですと“社教さんか”となりますが、指導主事だと“はは一と”という感じになりますので、指導主事が学校に行ってもこのようにやりますというと、わりあい学校の先生はいうことは聞きます。一番わかっているのは社会教育主事なのですが、社会教育主事が係わるとなんとなく一段低いと感じてしまいます。それはそれとして、指導主事が積極的に係わった、指導課に係わったという

ことが非常に大きかったと思いますので、これを教訓として、私たちも教育企画課がかなり入り込んでやることは非常に大事だと思っております。ありがとうございます。

#### (荒谷委員)

石切所の東口が激変している状況です。今は、東口の広場など二戸の玄関口の整備が進んでいるところですが、外からいらした方々が、二戸市はこういうところなのだと、歴史であったり、偉人であったり、入ってきたときに感じられるような、できるだけ殺伐としていない、二戸にしかないような駅になっていただくと嬉しいといつも駅前を車で走っております。整備の状況にもよりますが、その辺を期待しているところです。

#### (藤原市長)

二戸市の文化の高さを駅で表すことはなかなか難しいことで、できるのであれば、街中を見て、歩きながら、パンフレットなどを持って、ここが九戸城のあるところ、ここが田中館愛橋先生のゆかりのあるところ、お墓とか、相馬大作とか、そのように大きな歴史がありますので、それを感じさせながら見ていく必要があると思います。駅には二戸の象徴となるようなものを置いて、駅を下がってくると馬淵川が流れていますので、渡辺喜恵子さんの歌碑を置いて、街の中で川が流れているということを表現できればと思います。合同庁舎から五日町に向かって1本、橋が架かれれば、新しい街と歴史のある街が一つにつながりながら交流していくまちづくりがこれから必要になって、計画もそのように立てていきたいと思っております。

天台寺もそのとおりで、天台寺だけポツッと360年ぶりに改修したといっても、やはり天台寺に行ったときに寂聴先生を感じるということで、寂聴先生がもってきたアジサイを周りに植えながら、杉は杉で浄法寺杉を間伐しながら、そこに体感できるように、手前には漆を配置するなど、そういう歴史や文化を感じられるような街というのは伸びていく、お客さんが求めてくるのではないかと考えております。

駅一つの中でやれるかは分かりませんが、なかなか難しいと思っておりますが、パンフレットや看板を設置しながらやっていくことが必要ではないかと考えております。

#### (鳩岡教育長)

石切所の人に怒られるのでこの場でしか言えないのですが、東口も西口も両方というのは土台無理だと思います。どちらかを二戸市の表玄関としていかなければなかなか難しいと思います。ある程度の人口規模がないと東も西もとはいかないと思います。このあたりの市の覚悟というか、石切所の皆さんにも了解をいただくのは大変なことです。それをしないと後々トラブルになって外から来た人はどちらに降りたらいいのか、二戸の玄関はどこなのかと正直迷っているのではないかと考えております。

#### (藤原市長)

駅西口の方はバイパスから通じていて、広域から来る車が入ってくると、東口は市内をまとめるというコンセプトで、市内に行くバスは全て東口から出ております。西から入っ

てきても、ガードをくぐれば東の道路に行けるというまちづくりを進めています。橋は川原橋と二戸大橋とその間に1本架ければある程度便利な街になるのではないかと考えております。自然の景観や歴史を活かした街並みを作っていきたいというのが、今までの二戸市の考え方であります。

(藤原市長)

次に、その他に入ります。「新型コロナウイルス感染症対策の対応について」、事務局説明願います。

(平教育部副部長)

(説明 略)

(藤原市長)

説明が終わりました。

ご質問ありますか。

感染予防ということで空調設備は結構直したのですよ。

(平教育部副部長)

大きいものとしては、金田一コミュニティセンターの空調設備を改修しております。あとは、座席の抗菌処理や図書館の公衆無線LANなど、できるだけ交付金を活用してやれることを行ったところでございます。

(鳩岡教育長)

何かあれば一番で出てくるのは西小学校になります。光回線が弱いとか、今Wi-Fiをやっていますので。その都度、平身低頭して、もう少しお待ちくださいと言っているのですが、その辺の見込みはどうなっていますか。

(田中館総合政策部長)

国の補助事業と交付金事業を入れまして、全ての世帯に光ファイバーの接続ができるよう工事に入っております。西小にも、全部の世帯に3月までに届くように進んでおります。

(鳩岡教育長)

西小学校そのものが開通するのはいつになりますか。

(田中館総合政策部長)

そこから接続していくことになります。

(鳩岡教育長)

そうすると3月過ぎるのですか。

(田中館総合政策部長)

もちろんそういうことになります。

(鳩岡教育長)

その辺の目途を示してやらないと、いつまで待てばいいのですかということになりますから。市内はきちんと進んでおりますから、西小学校だけ置いておかれるということで、私は非常に心苦しい思いでおります。

(藤原市長)

今まで、下斗米地区以降や足沢地区の方にはいっていなかったのですが、全部の世帯に光回線がいくということになります。ご不便をおかけしておりますが、西小学校は3月までにいくということですのでよろしく願いいたします。

#### 4 報告

(藤原市長)

次に「報告」の説明願います。

(平教育部副部長)

(説明 略)

(鳩岡教育長)

県立特別支援学校は、8年度と示されておりますが、遅くともということで、早ければ6年度当たりと見込を私自身はしております。県は釜石の支援学校ができ次第、二戸市を始めるとしております。早ければ4年度に設計、5年度に建てて、6年度開校というのが最短だと思っております。あとは見守るしかありません。

(藤原市長)

今回、高校再編の計画が出てきまして、改めて工業高校、福岡高校を考える機会を与えていただいたと逆に思っております。

県の統一要望等についても毎年しているわけですが、工業高校については、今の2学科の維持についてお願いしておりますし、福岡高校については建て替えについてお願いしております。子どもが減る中で、どう生徒を集めていくかということもあり、交通費の補助や地元から一旦出ていった人が戻ってきて欲しいということで、育英資金の貸与金について返済額の軽減を広げて、地元に戻ってきてもらえればと思っておりました。

(藤原市長)

皆様からご意見等ありましたらどうぞ。

〈「なし」の声あり〉

(藤原市長)

よろしいでしょうか。  
事務局にお返しします。

6 閉 会
-------

(平教育部副部長)

本日、予定している議事について終了いたします。  
ありがとうございました。  
以上をもちまして、令和3年度二戸市総合教育会議を閉会します。  
委員の皆様、ありがとうございました。